

ポスターセッション【原子カシステム研究開発】

- 炉心損傷時の炉心物質再配置挙動評価手法の開発
研究代表者 飛田 吉春(原子力機構)
- 崩壊熱除去系に対する自然循環除熱評価手法の開発
研究代表者 渡辺 収(三菱FBRシステムズ)
- 蒸気発生器伝熱管破損伝播に係るマルチフィジックス評価システムの開発
研究代表者 大島 宏之(原子力機構)
- 次世代燃料の遠隔分析技術開発とMOX燃料による実証的研究
-Pu燃料分光の実証をめざして-
研究代表者 若井 育夫(原子力機構)
- 軽水冷却スーパー高速炉に関する研究開発
研究代表者 岡 芳明(早稲田大学)
- 過酷事故対応を目指した原子炉用ダイヤモンド半導体デバイスに関する研究開発
研究代表者 金子 純一(北海道大学)
- 外部ハザードに対する崩壊熱除去機能のマージン評価手法の研究開発
研究代表者 山野 秀将(原子力機構)
- 極限荷重に対する原子炉構造物の破損メカニズム解明と破局的破壊防止策に関する研究開発
研究代表者 笠原 直人(東京大学)
- 原子力発電機器の強度保証のための高信頼性に関する研究開発
研究代表者 三原 毅(富山大学)
- 高燃焼度原子炉動特性評価のための選発中性子収率高精度化に関する研究開発
研究代表者 千葉 敏(東京工業大学)
- シンチレータスタック型ガンマ線イメージャに関する研究開発
研究代表者 河原林 順(名古屋大学)
- 安全性を追求した革新的炉心材料利用技術に関する研究開発
研究代表者 林 大和(東芝)
- 原子力プラント安全性の向上に対応できる高耐食性EHPステンレス鋼の適用技術に関する研究開発
研究代表者 中山 準平(神戸製鋼所)
- 原子炉燃料被覆管の安全設計基準に資する環境劣化評価手法に関する研究開発
研究代表者 阿部 弘亨(東北大学)
- 原子炉容器構造材料の微視的損傷機構の解明を通じた脆化予測モデルに関する研究開発
研究代表者 永井 康介(東北大学)
- 高度の安全性を有する炉心用シリコンカーバイト燃料被覆管等の製造基盤技術に関する研究開発
研究代表者 香山 晃(室蘭工業大学)

ポスターセッション【原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ】

- 電気化学的吸着脱離によるコンパクトで再利用可能なセシウム分離回収システム
研究代表者 田中 寿(産業技術総合研究所)
- 粒界制御法適用による高信頼性原子炉材料の開発
研究代表者 坂口 紀史(北海道大学)
- JMTRを用いた放射化法による⁹⁹Mo/^{99m}Tcの国産化技術開発
研究代表者 河村 弘(原子力機構)
- 原子炉復旧・防災のための高エネルギーX線検査システムの開発
研究代表者 高橋 浩之(東京大学)
- 原子炉容器下部ヘッ드의溶融物挙動の機構論的研究
研究代表者 岡 芳明(早稲田大学)
- 安全な「水素吸蔵材料による無電力型爆発防止システム」の開発研究
研究代表者 橋本 直幸(北海道大学)
- 表面・界面効果を考慮した溶融燃料中の揮発性核分裂生成物の挙動評価
研究代表者 黒崎 健(大阪大学)
- リスクマネジメント基盤技術としての地震リスク評価の信頼度向上に関する研究
研究代表者 村松 健(東京都市大学)
- 原子力発電所事故時の放出量および再飛散量推定手法高度化に関する研究
研究代表者 加藤 信介(東京大学)
- 多様なセシウム汚染廃棄物の中間・最終処分安全評価のための機関連携による多角的な研究
研究代表者 小崎 完(北海道大学)
- 放射性物質により汚染された植物バイオマスの減量化総合処理システムの開発研究
研究代表者 加藤 純一(広島大学)
- 原子力産業への社会的規制とリスク・ガバナンスに関する研究
研究代表者 松岡 俊二(早稲田大学)
- 原子力施設の地震・津波リスクおよび放射線の健康リスクに関する専門家と市民のための熟議の社会実験研究
研究代表者 土屋 智子(東京大学)
- 原子力と地域住民のリスクコミュニケーションにおける人文・社会・医学による学際的研究
研究代表者 中川 恵一(東京大学)
- 「原子カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行
研究代表者 木村 浩(パブリック・アウトリーチ)
- 原発事故のミティゲーション措置に関する貨幣的評価
研究代表者 山根 史博(神戸大学)

平成25年度 成果報告会 文部科学省
原子カシステム研究開発及び
原子力基礎基盤戦略研究
イニシアティブ

平成26年
2月27日(木)
JST東京本部(サイエンスプラザ)

みんなで語りあおう
原子力研究
その先にあるもの



●会場
JST東京本部(サイエンスプラザ)
東京都千代田区四番町 5-3

【交通案内】市ヶ谷駅
・JR総武線
・地下鉄
有楽町線・南北線(東京メトロ)
新宿線(都営)

プログラム詳細はウェブをご覧ください。

<http://sympo.adthree.net/jst-nrd8/>

●お問い合わせ先

独立行政法人科学技術振興機構 原子力業務室
Tel. 03-3238-7681 E-mail systquery@nrd.jst.go.jp
<http://www.jst.go.jp/nuclear/>

開催 趣旨

文部科学省では平成17年度に「原子力システム研究開発事業」、また平成20年度には「原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ」を創設し、競争的資金による原子力研究開発を推進しております。

本年度の成果報告会では、共通テーマ「みんなで語りあおう原子力研究 その先にあるもの」の下、本競争的資金による研究成果を紹介するとともに、会場の皆様とともに今後の原子力研究について考えたいと思います。

多くの皆様にご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

■日 時：平成26年2月27日(木) 10:00-17:45

■会 場：JST東京本部(サイエンスプラザ)

本報告会は、文部科学省「原子力システム研究開発」及び「原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ」の成果報告会であり、文部科学省より委託を受け、独立行政法人科学技術振興機構が実施するものです。

プログラム

10:00 開会挨拶 プログラムディレクター(PD) 茅 陽一
文部科学省研究開発局原子力課長

10:10 パネルセッション1
原子力システム研究開発(特別推進分野)

■口頭発表

①「もんじゅ」における高速増殖炉の実用化のための中核的研究開発

研究代表者 竹田 敏一(福井大学)

②最新の妥当性立証手法に基づくFBR流動設計手法の検証方法の研究

研究代表者 笠間 貴寛(三菱重工)

③FBR燃料・炉心設計の特徴を考慮した燃料配置最適設定手法の開発

研究代表者 菅 太郎(三菱重工)

④「もんじゅ」プロセスデータのハイブリッド高度処理による異常診断エージェントの研究開発

研究代表者 五福 明夫(岡山大学)

■パネルディスカッション

進行 プログラムオフィサー(PO) 大橋 弘忠

11:10 パネルセッション2
原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ(原子炉関連課題)

■口頭発表

[戦略的原子力共同研究プログラム]

①地震加速度付加時の気液二相流の詳細予測技術高度化に関する研究

研究代表者 阿部 豊(筑波大学)

[研究炉・ホットラボ等活用研究プログラム]

②研究炉JRR-3中性子輸送の高効率化が拓く新しい物質・生命科学

-機能場における水・プロトンの輸送現象の解明を目指して-

研究代表者 丸尾 毅(原子力機構)

③原子炉圧力容器オーバーレイクラッドの劣化機構に関する研究

研究代表者 永井 康介(東北大学)

④FFAG加速器を用いた加速器駆動未臨界炉用材料挙動の解明

研究代表者 義家 敏正(京都大学)

■パネルディスカッション

進行 プログラムオフィサー(PO) 山本 章夫

12:10 昼 食

13:00 ポスターセッション

13:45 若手表彰式

14:00 特別講演 石田 寛人(公益財団法人原子力安全技術センター会長)

-休憩(10分)-

15:00 パネルセッション3
原子力システム研究開発(環境負荷低減技術研究開発)

■口頭発表

①加速器駆動未臨界システムによる核変換サイクルの工学的課題解決に向けた研究開発

研究代表者 辻本 和文(原子力機構)

②「もんじゅ」データを活用したマイナーアクチニド核変換の研究

研究代表者 竹田 敏一(福井大学)

■パネルディスカッション

進行 プログラムオフィサー(PO) 山名 元

15:30 パネルセッション4
原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ(超ヘテロ課題群)

■口頭発表

[戦略的原子力共同研究プログラム]

①白色中性子源を用いた中性子線量計の革新的校正法に関する研究

研究代表者 原野 英樹(産業技術総合研究所)

②核燃料に関する計算組織学的な解析技術の開発

研究代表者 太田 宏一(電力中央研究所)

③高機能性キセロゲルによる原子力レアメタルの選択的分離法の開発

研究代表者 三村 均(東北大学)

④国際核燃料サイクルシステムの構築と持続的運営に関する研究

研究代表者 田中 知(東京大学)

⑤小児期被ばくの放射線感受性とDNA修復に関する研究

研究代表者 小松 賢志(京都大学)

■パネルディスカッション

進行 プログラムオフィサー(PO) 岩田 修一

16:40 パネルセッション5
原子力システム研究開発(基盤研究開発分野)

■口頭発表

①疎水性、親水性新規ジアミド化合物によるMA相互分離技術開発

研究代表者 佐々木 祐二(原子力機構)

②照射を目指したMA合金燃料の製造基盤技術の開発

研究代表者 有田 裕二(福井大学)

③水素化物中性子吸収材を用いた革新的高速炉炉心の実用化研究開発

研究代表者 小無 健司(東北大学)

④ナノ粒子分散ナトリウム的高速炉への適用化技術の開発

研究代表者 荒 邦章(原子力機構)

■パネルディスカッション

進行 プログラムオフィサー(PO) 澤田 隆

17:40 閉会挨拶 原子力業務室長

(注) パネルセッション3以外の研究代表者及び所属は、課題終了時のものです。